## 語 学 習 指 導 の 問 題 点 臣

国

玉 語 学 習 意 識 の 実態 から

## は ۲ め [=

欲を高める手がかりは得られないか。とう考えて行なったのが、次 学習意識の実態から、国語学習の問題点を整理し、国語学習への意 の調査である。 高校生たちは国語学習をどのように考えているか。高校生の国語

調査月日 51年7月19日 (月曜日) 広島県立皆実高等学校、左記二・三年、計3クラス

21	男	三年
23	女	À
44	計	系系)
41	男	三年
9	女	В (Щ
50	計	系
24	男	=
22	 女	
46	計	年

(註) 数字は人 数を示す

調査時間 20分~35分

1、国語学習への興味・関心 (その理由)

現国・古文・漢文について次の内容の調査を行なった。

3 2、国語学習の意義・必要性(その理由) 興味・関心の内容(ジャンルと印象深かった教材)

国語学習の困難点 (学習上困っていること・困ったことを

5、国語学習の目的(どういうこと、どういう力を修得したい

6、国語学習への希望・感想

述べることにしたい。 ことでは、調査の実態を報告し、 問題点を分析整理して、私見を

、国語学習の意義・必要性

意義・必要性の度合はかなり高いー

現国

=	年	三生	ĔΒ	三年	¥Α	/	
女	男	女	男	女	男		
5	16	3	13	10	6	(7)	
2	1	1	6	1	6	あ大 る変	
16	7	5	23	12	12	(1)	
2	3	2	8	2	4	ある	
1.	1	1	4	0	3	(7)	
	0		5		3	ない	
0	0	0	0	0	0	( <u>T</u> )	
	0		0		0 •	な全 いく	
0	0	0	1	1	0	無記	
	0		1		1	入	

伊 東 武 雄

9 (グ)ない

(1)ある

ー (円) な全 いく

なわから

無記入

り高く認めていることがわかる。生徒たちはその理由として、次の 右の数字から、生徒たちは国語学習の意義必要性を理解し、 かな

=	年	三年	ĘΒ	三年	FΑ	/	漢文	=	年	三生	₽B	三年	FΑ
女	男	女	男	女	男			女	男	女	男	女	男
2	0	1	1	0	1	かか		3	0	0	1	1	0
	2	:	2		1	あ大る変			3		1		1
11	13	6	16	17	7	(1) ある		12	13	8	21	16	10
2	4	2:	2	2	4	3		2	5	2	9	2	6
3	7	0	14	4	11	(ウ)な		3	8	1	11	4	9
10	0	14	4		15	Ñ		1	1	1	2	1	3
1	2	2	8	1	1	(H) な全		2	1	0	6	1	1
:	3	10	0		2	<b>ॅ</b> र		:	3		6		2
1	0	0	0	0	1	なわ いか		0	0	0	0	0	1
:	1		0		1	5			00		0	:	L.
2	2	0	2	1	0	無記		1	2	0	2	1	0
	4	:	2		1	人			3		2	-	l

点を挙げている。 ( ) の数は人数を示す。 まず、現国学習の意義については次の点を認識している。

⑦日本人として。(6) 日本人だから。(4) 日本に住んでいる 民族のことばであること。 から。(4)日本語は正しく使われなければならない。日本人

の心を知らなくてはならない。現代日本を生きていくために

①国語だから。自国語だから。日本語だから。(13) 正しい日 忘れるから。日本語をまともに使えない人が多いから。(9) 必ずいる。やっぱりよく知っておきたい。 れてきているから。正しい日本語がすたれるから。日本語を 本語を知る。日本語の現代の姿を知る。最近の日本語がみだ

(2)⑦生活語であり、日常生活と一番密接なものである。(15) 日 生活のことばであること。

①現代生活に必要である。(3) 社会生活をしていくのに必要 常生活を豊かにする。(4) である。(6)

①現国はすべての教科の基礎となる。 ⑦何をするにも現国が根本になっている。 生活の基本であること。

◎言葉がわからなければ何をやってもだめである。 国語学習は国語の力をのばし、人間性を育てるものであるこ

①文章の読解力、漢字力がつく。(2) ⑦正しい日本語の修得のため。(5)

## の人の話を理解することがうまくなる。

田人間の心を理解することができる。(3)

⑦正しい知識が身につき、物の見方・考え方が確立し、 思考が 拡大する。(4) 自己成立に役立つ。

母豊かな人間性を養う。(3)

(5)現実生活に不可欠であること。

①社会に出てどうしても必要である。(5) ⑦入試に出る。(3)

さらに明確なものに高める必要がある。 以上の生徒の意見をふまえて、生徒たちの現代国語の学習意識を

(1)からは、民族のことばである国語への愛情を育てる。

学習の重要性を再認識させる。 2)から、生活を豊かにし、国語生活を向上させるためにも、 現国

のたいせつさを説く。 (3)から、ことばへの自覚を高め、より効果的にことばを使うこと (4)から、現国学習の目的を考えさせ、目的意識をもたせることに

意義がない、必要がないとする理由としては、次のことが挙げら ⑤からは、現国学習の必要性を利害得失の上から実感させる。 よって、国語の力の向上をはかる。

⑦日常の話ができれば十分、普通使っているので学習の必要はな い。(三男2)

①教材では余り感動がわいてこない。(三男)

しつけになっているように思います。(三女)

の人によって感じ方が違うのに、現在の授業では先生の解釈のお

らも、より高い学習目標をもたすことによって、学習意欲を高める とうした意見や批判もたいせつにして、一応は肯定してやりなが ⑤勉強してもずばぬけて偉くならないと思う。(三男)

材料として活用することができる。

古文学習の意義は、次の四つにまとめられる。 次に、古典学習の意義、必要性としては、次の理由を挙げている。

民族の遺産である。

⑦日本人だから。日本人としてやっぱり知っておきたい。(2)

⑦自国の古典だから。我が国の古典文化を知ることはやはりた いせつ。古いもの祖先のものは受けついでいくべきだ。(5)

砂自分たちの祖先が使用したことばだから。
現在どのように関 係があるかを知ることがたいせつ。 (5)

田日本の心を理解するため。われわれの祖先の心にふれる。

5

⑦昔の人の考え方、生活・風俗・時代を知ることができる。

(2)温故知新である。

の過去のことを知るのはよい。日本の昔のことがよくわかる。 日本の古き時代を知ることはよい。 (4)

①現代につながるものがある。古いことを知って新しいことを 見出す。現代を生きる者として古い時代を知る必要がある。

歴史を知ることになる。(7)

- の古文を通して現代文を考えねばならない。古典が現在の文学 の基礎になっているものが多分にある。 (3)
- (3)幅広い知識の泉となる。
- ⑦ 教養のため。 日本の古典ぐらいは知っておいた方がよい。
- ①幅広い知識を得るため。一般社会人として最低の知識の修得。
- の人間の心を知り心を豊かにするため、日常生活が楽しくなる。

2

- (4)日常生活にも必要である。 学習しなければ古文が読めない。
- 社会に出て困る。
- 習の意欲を高める。 11からは文化の伝統の継承と発展の問題を考えさせる。(2)によっ 生徒たちの以上の意見をふまえて、次のことを行なって、古文学
- 常生活に役立つことを理解させる。 いては、(1)から(3)までの生徒たちの意見を紹介して、古文学習が日 (3)からは、心を豊かにして生きることのたいせつさを説く。(4)につ て、過去を通して現在を見つめる目と未来を見通す目を鋭くさせる。
- 漢文学習の意義としては、次のものが挙げられている。 日本語及び日本思想のもとである。
- ⑦日本語のもとである、漢字は日本語の基本である。  $\widehat{4}$
- ①孔子の教えなどは現代に通用している考え方である。 現代の 文学の基礎になっている。

4

- の祖先の心などがわかる、昔の人の考え方をとらえることがで
- **⑦漢字のなり立ちなどがわかる。漢字がよくわかる。漢字や故** 漢字の理解に役立つ。
- ①より深く漢字を知りたい。漢字の読み書きをしっかりしてお 事成句などの語源を知ることができる。
- (3)中国への知恵が深まる。
- ①昔の中国の人の心や歴史・生活がわかる。過去の人々の生活 **⑦古代の中国の文学や思想を知ることができる。日本の文学で** はないがすばらしい文学なので。 (5)
- ⑤故事などの学習がすき。昔の中国人のウィットがわかる。(2) や考え方は私たちと結びつきがある。教訓がある。 (5)
- の格言・故事熟語が日常にも必要だ。古文より重要。(2)

日常生活に必要である。

- の社会に出て困る。やった方が絶対に役立つ。 (4) ①幅広い知識・教養をうる。一般常識の向上に役立つ。 (5)
- になろう。 2から、漢字への興味と関心をもたせること、3から、中国への視 野を拡げること、4から、漢文学習の功徳を考えさせることが必要 1)から、中国と日本の彼我の文学と思想の違いを理解させること、
- く認めている。生徒たちのこのような意見を資料にして、国語学習 の目的・意義を再認識させることが、国語の学習意欲を高める第一 以上のように、生徒たちは国語学習への意義・必要性をかなり高

の方法であると言える。

認めない生徒がかなりいる。その理由として、次のようなものが挙 げられている。 古典学習については、現代国語の学習に比べて、意義・必要性を

①日常生活に関係がない。生活するのに必要でない。知っていな の日常使われていない、現在使われていないことばである。 くても困らない。

田むずかしい。やりたい人だけがやればよい。専門的にやればよ の将来どんな役に立つのか。受験科目にもない。

となってくる。 ちに、どのようにして古典学習の意義を認めさせるかが重要な課題 とうした生徒は<br />
今後増加するものと<br />
考えられる。<br />
とうした生徒た

現国

三年A

2

16

19

7

三年A

12

4

年

女 男 女 男 女 男

1 0

5 10 7 13 13 3 あ

13

15

20

10

3

7 0

7

年

3 6 1 16 3 3 な

9

17

1

三年B

2

10

20

12

8

三年B

0 8 3

12 7

8 0

分大変ある

(1)

る

的とちらで

(エ) な

()

(<del>I</del>)

い

6

2

漢文

2     3     0     0     2     1     分表       5     0     3     3       8     10     4     8     17     5     (4)       5     18     12     22     3       9     5     5     17     2     8     5	=	年	三年	FB.	三4	FΑ	/
2     3     0     0     2     1     大変ある。       5     0     3     3       8     10     4     8     17     5     (4)       5     18     12     22     3       9     5     5     17     2     8     5     5       14     22     10     いらで	女	男	女	男	女	男	
8   10   4   8   17   5   (f) ま   18   12   22   ま   25   14   22   10   で   で   10   で	2	3	0	0	2	1	<del>  }-</del>
18   12   22   3   5   17   2   8   5   5   17   2   8   5   5   5   5   5   5   5   5   5		5		0		3	ある
9   5   5   17   2   8   5 と はままます。 14   22   10   いきで	8	10	4	8	17	5	(1) あ
9   5   5   17   2   8 もとなま 14   22   10   で		.8	1	.2	2	2	る.
	9	5	5	17	2	8	
	1	.4	2	2	1	0	いらで
3 6 0 16 2 7 (x)	3	6	0	16	2	7	(H) な
9 16 9 6		9	1	6	•	c3	

## 二、国語学習への興味・関心

――興味・関心は高いとは言えない――

古文

<b>団日常生活に資する所がある</b>	田ふだんからひんぱんに使う	しなくてはならない	の日本人として生きるためには日本語で生活	①日本人だから	の国語である。公用語である	2 国語である。日本人だから	でおもしろい。では、それぞれぞれるまりかあり、	の可じにはいっているのではなるので	用文を書いたり読んだりすることがきらいで	もえもえた言る語するといればればはもし	いろいるな舌と思うことはないないならっし	のいろいろな人の書いた文章を読むのがおも	<b> </b>		日小説がすき・読むことがおもしろい・楽し	の読書がすき	①好きだから	⑦ おもしろい、何となくおもしろい	おもしろい		(A) 興味・関心があるとする理由	国の学習のはあい	_	の理由を整理すると次のようになっている。	右の実態から、国語学習への興味・関心は高いとは言えない。そ
三B男	三A男		二男	三B男	二女·三A男		= H	Ē	三人女	E F	三多男	三B男	三A女	二男 三A女	三男男	二男2・二女	二女	三AI男・二男	三 3 女						には言えない。そ
から	<b> 分情緒を重視し個性的な人間を育てる教科だ</b>	7 その他	受験に必要	の入試課目にある、入試に必要、	⑦入試に関係がある	6 入試に必要	の将来の道として国語の方へ進みたい	⑦将来のため	5 将来のため	のいい先生に恵まれた	⑦投業が楽しい 	4 授業がたのしい	田国語に強くなりたい	<b> のことばの理解</b>	他の人の心中を知る	⑦人間の心理について 理解できる	新しい発見ができる。	今所しいものの答え方がわかる。	のいろいろな分野の欠害に見いめる	のいろいろな作品に接して多くのことが学べる。	⑦学力がつくのが楽しい	3 学力がつく	の現代人一般の考え方に基づいている	母むずかしくない	の大変身近かに感じられる
-	三 A 女		三A男	三B男2	三 B 男		二女	三 A 女		三 B 女	三A女3		二男	三B男	三B男	三B男	三田男	三 3 7 7	三 入 文	二女	二		三 B 男	三B男	三 <b>A</b> 男

の楽しいが、少々めんどうになることがある 三A女	今の授業では表面的・形式的でおもしろく 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	$\Theta$	2受業でよる	⑦気にのればおもしろく感じるし、そうでな 三B男	笠が大きい 笠が大きい とおもしろくないものとの 三B男	<b>一の小説など読む事はすきだが、問題をとくと</b> 三A男		①論説文などきらいだが、詩とか短歌が大す 三名女すきな読みもののときに興味がでてくる 三名女	興味のある文章ならおもしろい   三A男	⑦題材によっていろいろ 三B男	1 内容による	(B) どちらでもないとする理由	入試の力な	4 楽しい授業を工夫し、実践しなくてはならない。	3 国語の力を高めるものでなくてはならない。	2 国語生活の向上に役立つものでなくてはならない。	読書・文学への愛情、愛着を育てるものでなくてはならない。	1 読書指導(文学教育)の必要を感じる。	右の実態から、次のことが考えられなくてはならない。
(C) 興味・関心がないとする理由	3 教師としての向上	―わかりやすさ・深さ・楽しさ― ならない。	わかりやすい授業・深みのある授業・楽しい授業を考えねば	2 授業方法のくふう	らない。生後の実態を知って彩材を精選し、寂寞な作業を考えねばな	1 教材の吟味・精選	右の実態から、次のことが留意されなければならない。	安そんなに楽しまないし、それと言っておろ 二男	<b>⑦日本語を使うのに別に影響がない</b> 二女	の日常使っているのであまり意識していない 二男	切別にそれほど意識する学科におもえない │ 二男	4 現国という性格による	でおもしろくない の先生によって内容がぐっとかわってくるの 二女	3 教師による	母授業のしかたに多少ギモンをもつ 三B男	好きな本を読む時間にしたらなあ	授業としてやるとおもしろくない 三B男	まり興味がない。 対学でやるとなぜが強制されるみだいであ	❸小説などを読むのは大へんおもしろいが、  三A女

①自分が納得すればそれでよい 	⑦現国のテストはなくても小説はよめる	5 その他 の で で で で で で で で で で で で で で で で で で	母きちっとした答がでないのでおもしろくなの学ぶとなるとむずかしい	⑦わからない、やってもわからない 型国という教科のむずかしさ	の投業がわかりにくいの投業がおもしろくない	②すきでない・きらい・興味がわかない ②すきでない・きらい・興味がわかない ② 教材がおもしろくない、あまりおもしろくない ② 教科書はおもしろくない 教科書にのっている文章は興味をひく内容 をもたない ⑤ 教科書より他の本を読んでいた方がよい 自分で自由に本を読んだ方がおもしろい 3 投業がおもしろくない	1 すきでない、興味がない
三B男	三A男	三 三 A A 男 男	二男男男	三B男3、三B男	三 二 二 A 男 男 男	三三 三 二       三 三 二         BB A	Ţ
(9だんだんわかり出した	の読んでいくうちにおもしろくなってくる	い。その時代の考え風物を学ぶのがおもしろ。物語がすき・物語要素がおもしろい。 古人の思想がおもしろい	のおもしろい、なかなかおもしろい。音読するときの流れがすき	<ul><li>・古文を読むのがすき</li><li>・ すきてまる・まもしるい</li></ul>		2 生徒の学力をのばし、関心をひき出す投げ入れ教材を発掘する必要がある。	右の理由から、次のことが考えられなくてはならない。
三A男	三 A 女	三二二男男男 2	男三二 女女女 3 ・三 A ・三 B・ B・	三 三 A A 女 女	-	国は 関連 と 変化 が 関 と 刺激 と 刺激 と 変化 が か か る こ と 、 順 が わ か る こ と 、  原 が わ か る こ と 、  原 が わ か る こ と 、	らない。

4 古文学習が楽しい、勉強のやりがいがあの教材がおもしろいし、勉強のやりがいがあの学力がつくのが楽しいの学力がつくのが楽しい。自分でほぼ読解できるがいたい意味が通じる	を が ふ え る る	3 新しい知識がふえる 市の人々の考え方や生活が知れる で昔の人々の考え方や生活が知れる でもの人々の考え方や生活が知れる できる	2 古典へのあとがれがある  ②日本の昔のことが知りたい  型在使われていないことばが知りたい  現在使われていないことばが知りたい  の者の国情が感じられる  の時本の風情が感じられる
二 二 三二 男 女 三 女 女 三 A 女	二二三二二三三 男男女女女男 女	二 三 二 二 二 二 男 <b>A</b> 女 男 男 男	三三三二女 三三二女 三女 女 女 女 女 女 女 女
受験にだけ必要なのではないことも理解させる。	3 古文学習の内容としては ③昔の日本語	<ul><li>会現代と古典の世界のちがいを理解させること</li><li>の現代語と古典語のちがいを理解させること</li><li>の出典へのあとがれをもたせること</li><li>のよりかえしくりかえし読ませる</li></ul>	日

1 すきでない、おもしろくない	C 興味・関心がないとする理由		重要古語、基本古語の確認	団効果的・実際的な辞書指導を	さ細な語法、句法には立ち入らない	(3)内容中心の学習を	<b>の興味づけを</b>	<b>①学習のムードづくり、気がのる授業を</b>	<b>⑦興味ある教材を</b>	ションある	公司の「おり」を行う行うます。これでは、「は、「は、」のは、「は、「は、」のは、「は、「は、」のは、「は、「は、」のは、「は、「は、」のは、「は、「は、「は、」のは、「は、「は、」のは、「は、「は、」のは、「は、「は、」のは、「は、「は、」のは、「は、」のは、「は、「は、」のは、「は、「は、」のは、「は、「は、」のは、「は、「は、」のは、「は、「は、」のは、「は、」のは、「は、」のは、「は、」のは、「は、「は、」のは、「は、」のは、「は、」のは、「は、」のは、「は、」のは、「は、」のは、「は、「は、」のは、「は、は、」のは、「は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	右の理由から、学習意欲を起させるためて、欠のことて習意する	<b>囲まだつっこんだ学習をしていない</b>   二女	しろい、現実はそうはいかない	母 預書を調べながら自分でやってゆくとおも │ 三 B女		ゥリボード C こう 古文がすぐ読めればおもしろいのだが語法 三A男			<b>愛昔の人が書いたものであるから読んでみた   三B男</b>	いときもある	<b> </b>		⑦教材によってたいへん興味があったりなか   三B男	(3) どちらでもないとする理由
3 必要性がない、意味がない	予習をしなくてはいけない	①予習がめんどう	の敬語法などがめんどう	どくさい	の文法がよくわからない、むずかしい、めん	意味がわからないので読みたいと思わない	争ことばの意味がわかりにくい	) ひとばがめんどうでわかりにくい		団読めないし、読めてもおもしろいと思わな	(円漢文とくらべてわかりにくい		のわからない。そってもわからない	うさっぱい うかい かい のうけん	ラアドロノン、生子できる	2 むずかしい、わからない、めんどう	の解釈しても現国と変らない	<b>围ひまでたいくつ</b>	の先生がなんとなく面白くない	母教材がおもしろくない	ろくない	色音の優雅な生活・苦労などはどうもおもし	<b>のおもしろくない</b>	<b>の</b> 得意でない	のきらいだから、すきでない、あまりすきで   二男・三 <b>A</b> 男
	二男	二男	三B女	三B男	?   三B男・女	三A男	三B女	三B男		 三 <b>B</b> 男		三 B 男 2	三男男	5. 月 9. 2	Ξ.		二男	三A男	三B男	三B男		三B男	三A男・三B男2	三 <b>A</b> 男	二男・三A男

<ul><li>1 すきである・おもしろい</li><li>のすきだから・現国・古文よりすき</li><li>のおもしろい</li><li>一歳んでいくうちにおもしろい、読んでおもしろい</li><li>一歳んでいくうちにおもしろい</li><li>一次がおもしろい</li><li>一次のでかれるしろい</li><li>一次のでかれるしろい</li><li>一次のである・おもしろい</li><li>一次のである・おもしろい</li><li>一次のである・おもしろい</li><li>一次のである・おもしろい</li><li>一次のである・おもしろい</li><li>一次のである・おもしろい</li><li>一次のである・おもしろい</li><li>一次のである・おもしろい</li><li>一次のである・おもしろい</li><li>一次のである・おもしろい</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のではある。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のである。</li><li>一次のではある。</li><li>一次のではある。</li><li>一次のではある。</li><li>一次のではある。</li><li>一次のではある。</li><li>一次のではある。</li><li>一次のではある。</li><li>一次のではある。</li>&lt;</ul>	②めったに使われない、使わない
三 三 A 女・二 女 - 三 A 女 - 三 A 女 - 三 A 男 - 女 - 三 A 男 - 女 - 三 A 男 - 女 - 三 B 男 - B B B B B B B B B B B B B B B B B	次 三 三 田 田 田 田 男 男 ・ 二 男 ・ 二 男 ・ 二 男 ・ 二 男 ・ 二 男 ・ 二 男 ・ 二 、 五 の が 考 え ら の が ま ろ の が ま ろ ら の が ま ろ ら の が ま ろ ら の が ま ろ ら の が ま ろ ら の が ま ろ ら の が ま ろ ら の が ま ろ ら ら ら の が ま ろ ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら
母音のことを知ることがある の昔の人がどのようだかわかる のいろいろな漢字の読み方などがわかる の中国と日本のつながりが漢字をとおしてよ くわかる くわかる あることが書いてある あることが書いてある	の史伝などがとてもおもしろい の中国の位大な歴史に関するものがある の中国の位大な歴史に関かある の中国の位大な歴史に関かある の中国の位大な歴史に関かある の中国の位大な歴史に関かある の中国の位大な歴史に関かある の中国の位大な歴史に関かがある の中国の位大な歴史に関心がある の中国の位大な歴史に関心がある の中国の位大な歴史に関心がある の中国の位大な歴史に関心がある の中国の位大な歴史に関心がある の中国の位大な歴史に関心がある の中国の位大な歴史に関心がある の中国の位大な歴史に関心がある の中国の位大な歴史に関心がある の中国の位大な歴史に関心がある の中国の位大な歴史に関心がある
三 二 二三二二 A 女 女 A 女 页 女 女	三三三二二二三三二二       三二三三二二         A A A B B B B B B B B B B B B B B B B B

以上のことから、次のことが考えられる。 の意義を認めている **①受験に必要である** 団授業が楽しい、楽しかった 田学力のつくのが楽し の読解が楽しい **①読んでいて楽しい** ⑦読むことが楽しい 意義・必要性がある 漢文学習が楽しい 古典を学ぶことにより新しいことを知る 二男 二男 三A女 三A男 二男 二男 三B男 二男・女 三A女2

内容のおもしろさを理解させる (H)

読むことのおもしろさに気づかせるの図の

学習意欲を高める方法としては

—故事、史伝、物語的要素— ただし教材のおもしろさが必要

中国の歴史にふれながら…世界史と関連させながら 英語との類似点を指摘する(語順・単語) Đ

(3)

4

中国文学と日本文学の特色を示す /他教科>

(5) 漢文学習の内容としては (政治がテーマ)(愛情がテーマ)

2

-新介日本を知る 現代を知る識 ・ 電温故知新

**動新しい発見** 

**⑦読む楽しさ** 漢文学習の楽しさを体得させる の読解の楽しさ

**①音読の楽しさ** 

以上を通して学習の意義を発見させる

田教訓的なものを多く含み、内容的におもし の別にきらいでもないが、返り点などがなか ① 「史記」 なんか読むのはおもしろいがちょ ったらまったく読めない っとめんどくさい気がする 三A女 三B男 三B男

感じる ろいが、漢字ばかり並べてあるので抵抗を

⑦本当は関心があるのだが、なかなか興味が もてない、書き下し文だけ見ると楽しいも のもあるのだが。

のそれほどきらいでもすきでもない 倒まだつっこんで勉強していない の教科としてしか意識しない

右の理由から、学習意欲を起させるために次のことに留意する必

受験にも必要だが、受験にのみあるのではない ②学力のつく楽しさ

どちらでもないとする理由

の長いものはきらいだけれど唐詩はすき

三A女

三B男

三B男

二男 二女

⑦漢字学習のおもしろさを

の読める(音読できる)楽しみを ⑦興味ある教材を **⑦興味づけを** 

要がある。

(C) 興味・関心がないとする理由

すきでない、おもしろくない

⑦すきでない、あまりすきでない **のおもしろくない、やってみておもしろくな** 

三B男、二男

られよう。

三A男、二女

**団話の内容が単純、人間関係が単純すぎる** の肩がこる、とっつきにくい 話がきばつでざんぎゃくでよくない

三B女、二女

2

三B男、三A女

①漢字ばかりでおもしろくない

のむずかしい

むずかしい、わからない、めんどくさい

⑦現代の漢字の読みとちがっていて混合して **動意味がわからない、何を意味しているかわ | 三A男・女** 田漢字が読めない、読めない漢字が多すぎる かりにくい

三B男

三B男2

三B男2

三B女 三B 男

る<br />
の漢字を調べるのに時間がかかっていやにな ◎進度が速く理解しにくい ⊕原文だけでは読みかねる 回わからない、<br />
やってもわからない 母漢字が読めず文意がわからない<br /> の小説のようにすらすら読めない 三B女

三A女

三A女 三B男 三 B 男 三B男2

◇予習などしないといけない、予習がめんど 二男2

3 ⑦使わない、めったに使わない 必要がない

二男、三A男

の受験科目にない、入試科目にない

**①必要ないと思う、ためになると思えない** 

右の理由から、学習意欲を阻止する要因として、次のものが挙げ 二男、三B男 三B男2

1 漢字の負担・内容の伝奇性、残虐さ、単純さ 学習の負担…漢字のよみ、意味、内容読解の困難さ、授業の

進度・予習の負担

3 現実的な必要性がない

学習意欲を高める要因と阻止する要因をつきとめ、生徒にかえ 点を分析してきた。このように、現実の生徒の実態をふまえて、 以上、国語学習の興味関心の理由を整理し、指導上考えられる

(註)本稿は、国語学習意識の一つの実態 ― 国語学習の意欲化を はかるために ― と題して、第17回広島大学教育学部国語教育学 していくことが、学習意欲を高める第二の方法と言えよう。

会(51・9・12)のシンポジウムの資料として用いたものの前半